

施設名 学園都市センター

視点	評価項目	NO.	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)
			所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)			
施設の管理・運営を安定して行うことができるか	計画通りに人員が配置されているか(ポスト数)	1	B		①主幹(課長)1 主任1 窓口職員(主事)4 窓口スタッフ(臨時職員)8 舞台3(主事3) ②常時3~4名配置 ③催し物の内容により1~3名配置	B		①主幹(課長)1 主任1 窓口職員(主事)4 窓口スタッフ(臨時職員)8 舞台3(主事3) ②常時3~4名配置 ③催し物の内容により1~3名配置	B		①主幹(課長)1 主任1 窓口職員(主事)4 窓口スタッフ(臨時職員)8 舞台3(主事3) ②常時3~4名配置 ③催し物の内容により1~3名配置	B		①主幹(課長)1 主任1 窓口職員(主事)4 窓口スタッフ(臨時職員)8 舞台3(主事3) ②常時3~4名配置 ③催し物の内容により1~3名配置
		2	A	有資格者について、計画を上回る人数を配置し、安定した施設の運営を行った。 ※23名(今期の配置人数)/9名(計画上の配置人数)=256%	①1名 ②2名 ③2名 ④8名 ⑤2名 ⑥2名 ⑦1名 ⑧4名 ⑨1名	A	有資格者について、計画を上回る人数を配置し、安定した施設の運営を行った。 ※23名(今期の配置人数)/9名(計画上の配置人数)=256%	①1名 ②2名 ③2名 ④8名 ⑤2名 ⑥2名 ⑦1名 ⑧4名 ⑨1名	A	有資格者について、計画を上回る人数を配置し、安定した施設の運営を行った。 ※24名(今期の配置人数)/9名(計画上の配置人数)=267%	①1名 ②2名 ③3名 ④8名 ⑤2名 ⑥2名 ⑦1名 ⑧4名 ⑨1名	A	年間を通して、施設の管理運営に必要な有資格者を、計画を上回る人数を配置し、安定した施設運営につなげた点を評価する。 ※25名(今期の配置人数)/9名(計画上の配置人数)=278%	①1名 ②2名 ③3名 ④8名 ⑤2名 ⑥2名 ⑦1名 ⑧5名 ⑨1名
	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経営がされていること	3	B		口座を開設し、継続して使用している。	B		口座を開設し、継続して使用している。	B		口座を開設し、継続して使用している。	B		口座を開設し、継続して使用している。
		4	B		資金を適切に管理するとともに、経理内容を明確にしている。公益法人会計システムを導入し、総勘定元帳・事業別元帳により経理状況は明確となっている。	B		資金を適切に管理するとともに、経理内容を明確にしている。公益法人会計システムを導入し、総勘定元帳・事業別元帳により経理状況は明確となっている。	B		資金を適切に管理するとともに、経理内容を明確にしている。公益法人会計システムを導入し、総勘定元帳・事業別元帳により経理状況は明確となっている。	B		資金を適切に管理するとともに、経理内容を明確にしている。公益法人会計システムを導入し、総勘定元帳・事業別元帳により経理状況は明確となっている。
		5	B		適切に行っている。	B		適切に行っている。	B		適切に行っている。	B		適切に行っている。
	収支計画が適正であること	6	B		4-6月 利用料金収入9,509,810円 期中予算比85.9% 年度を通し新型コロナウイルスの感染拡大に伴う一部利用制限及び利用中止や自粛などの影響を受けた。 ※期中還付2件、取消・還付による減収額212,740円	B		7-9月 利用料金収入9,230,560円 期中予算比90.9% 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う一部利用制限及び利用中止や自粛などの影響を受けているが、9月時点では回復傾向にはある。 ※期中還付5件、取消・還付による減収額192,900円	B		10-12月 利用料金収入10,067,530円 期中予算比90.9% 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う利用減は続いているが、イベントホールは日数利用率は回復傾向にある。対してセミナー室とギャラリーホールの区分利用率は減少傾向であり、感染症対策やオンライン移行などの影響が考えられる。 ※期中還付1件、取消・還付による減収額258,500円	B		1-3月 利用料金収入 8,215,070円 期中予算比80.8% イベントホールの日数利用率は前年度に比べて回復傾向にある。対してセミナー室とギャラリーホールの区分利用率は減少傾向であり、感染症対策やオンライン移行などの影響が考えられる。 【年度累計 37,022,970円 年度予算比87.2%】 ※期中還付1件 取消・還付による減収額40,600円 【年度累計還付8件 減収額年度累計504,000円】
		7	A	外部の研修、講座に関する情報にも広くアンテナを張り、参加により得た知識や技能を共有することで、組織力の向上に努めていることを評価する。  内外での研修や講座の情報に注視し積極的に参加をした。近年はオンライン研修が増えたことにより参加の機会が増加している。内部研修によるスキル・知識の共有も意識して行った。	A	継続して研修等に積極的に参加するとともに、財団内部でスキルやノウハウを共有するといった工夫を講じ、サービス向上や業務効率化に努めていることを評価する。  財団設立20周年事業の展示会を開催したタイミングで、夢美術館長に講師を依頼し設置についての研修を実施したほか、内外の情報資源を活用し外部の研修を積極的に取り入れる機会を設けている。	A	外部で実施している研修等について関連部署とも積極的に情報共有を図り、職員の育成に繋げている。また、所属する個々の職員が、組織力の向上のため自発的に学ぼうとする意識を持ち研修等に参加していることを評価する。  10/17 サービス介助士基礎研修(1名) 10/26 財団会計担当者研修(3名) 10/24.25.26.27.28.31 社内DXリーダー育成プログラム(1名) 11/1.2.4.7.9.10.11.12.14.16.18.19.25.26 同上 12/1.3.5.6.7.9.10.17 同上 11/3 eまちサミット「八王子の取り組み紹介とトークセッション」(1名) 11/9.22.29 普通救命講習(AED研修)(4名) 11/14 RPA研修~PowerAutomateの使用法~(3名) 11/16 Inter BEE2022(国際放送機器展)(1名) 11/16.17 安全衛生推進者養成講習受講(1名) 12/6.13 交通安全研修・情報セキュリティ研修(3名) 12/16 災害模擬体験セミナーZoom(店舗編)(1名) 12/23 上級救命講習(1名)	A	年間を通し、外部の研修や講座へ積極的に参加し、得た知識やノウハウを組織内に共有することで、サービス向上や業務効率化につなげたことを評価する。  2/16 情報セキュリティ研修(BCP研修)(1名) 2/17 財団会計研修決算編(3名) 3/10 申請フォームの仕組みと作り方について(1名) 3/10 防火設備実技体験(2名)				
	施設の管理運営を安定して行う能力を有しているか	8	B		適切に行っている。	B		適切に行っている。	B		適切に行っている。	B		適切に行っている。
		9	B		新型コロナウイルス感染拡大の影響による催し物の中止のため、利用料金収入は予算を達成しなかった。 この状況を踏まえ財団内執行会議において収支状況を情報共有し、消耗品の執行保留や時間外勤務の原則禁止等で経費削減の取組を強化している。文化庁補助金に申請を行い資金の確保に注力した。	B		新型コロナウイルス感染拡大の影響による催し物の中止のため、利用料金収入は予算を達成しなかった。 この状況を踏まえ財団内執行会議において収支状況を情報共有し、消耗品の執行保留や時間外勤務の原則禁止等で経費削減の取組を強化している。文化庁補助金事業について、7/28に交付決定(内示)となった。	B		新型コロナウイルス感染拡大の影響による催し物の中止のため、利用料金収入は予算を達成しなかった。 この状況を踏まえ財団内執行会議において収支状況を情報共有し、消耗品の執行保留や光熱水費を抑えるための節電及び時間外勤務の原則禁止等で経費削減の取組を強化している。文化庁補助金事業に申請を行い、交付を受けて修繕などを実施した。補助金支給額 1,638,000円	B		新型コロナウイルス感染拡大の影響による催し物の中止のため、利用料金収入は予算を達成しなかった。 この状況を踏まえ財団内執行会議において収支状況を情報共有し、消耗品の執行保留や光熱水費を抑えるための節電及び時間外勤務の原則禁止等で経費削減の取組を強化している。文化庁補助金事業に申請を行い、交付を受けて修繕などを実施した。補助金支給額 1,638,000円
		10	B		第三者への一部業務委託については市に協議をしている。	B		第三者への一部業務委託については市に協議をしている。	B		第三者への一部業務委託については市に協議をしている。	B		第三者への一部業務委託については市に協議をしている。

施設名 **学園都市センター**

視点	評価項目	NO.	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)
			所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)			
施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか	計画どおりに設備・備品点検が行われているか(回数)	11	B		8回実施 年間計画のとおり実施した。  【第一四半期内訳】 舞台設備1回(舞台機構) その他設備 7回 (空調設備1回、電気設備3回、冷水器3回)	B		8回実施 年間計画のとおり実施した。  【第二四半期内訳】 舞台設備点検1回(ロールバックチェア) ピアノ1回(交流サロン) その他設備6回 (電気設備3回、冷水器3回)	B		10回実施 年間計画のとおり実施した。  【第三四半期内訳】 舞台設備3回 舞台機構2回(10・11月)、音響設備1回(11月) その他設備7回 (空調設備1回、電気設備3回、冷水器3回)	B		13回実施【年度累計39回】 【第四四半期内訳】 舞台設備4回 舞台機構1回(2月)、映写設備1回(1月)、照明設備1回(2月)、ピアノ1回(2月) その他設備8回 電動シャッター1回(2月)、ピアノ1回(2月)※サウンドルーム (電気設備3回、冷水器3回)  上記の他、防火シャッター・防火戸点検1回(3月)
	施設の利用方法の変更または新たなサービス、その他のお知らせのホームページ掲載(回数)	12	A	施設の利用や企画事業に関する情報を適時かつ積極的に発信がなされたことを評価する。	24回更新 抽選会情報・催し物案内の例月更新に加え、新規導入備品(マイクスピーカーシステム)のPRやポスターデザインコンテストの告知、WEB予約に関する取り扱いルール変更についてのお知らせなどを更新した。	A		16回更新【年度累計40回】 抽選会情報・催し物案内の例月更新に加え、インターネット仮押さえ期間の取り扱い変更に関するお知らせ、休館日の告知、財団設立20周年記念ポスター展の広報などを行い更新を重ねた。	A	イベントホール座席図面を追加するなど、常時、利用者の利便性向上のためにホームページ記載内容の見直しを行っていることを評価する。	17回更新【年度累計57回】 抽選会情報・催し物案内の例月更新に加え、インターネット仮押さえ期間の取り扱い変更に関するお知らせ、休館日の告知、イベントホール座席図面の追加・たまたま未来メッセ開館に伴うアクセスマップの更新など	A	目標を120%以上の数値で達成したことから、期末評価をAとする。	24回更新【年度累計81回】
	指定管理者(学園都市文化ふれあい財団)が発行する「情報誌ララ」への会館施設情報や実施事業の記事掲載(回数)	13		年度末の数値をもって評価する。	1回掲載 6.7月号…ポスターデザイン募集		年度末の数値をもって評価する。	2回掲載(8-9月号)に2項目を掲載 ①設立20周年記念ポスター展告知 ②8月休館日告知		年度末の数値をもって評価する。	2回掲載(12-1月号)に2項目を掲載 ①1月抽選会の実施方式(事業調整のため諸室4分は2月に実施する旨の通知) ②年末年始休館告知	A	目標を120%以上の数値で達成したことから、期末評価をAとする。	1回掲載(2-3月号)に1項目を掲載 ・休館日告知を掲載  【年度累計6回掲載】
	業務関連法令調査による法令一覧の更新(回数)	14		年度末の数値をもって評価する。	ISO9001運営マニュアルに基づき、業務関連法令等について調査を実施予定		年度末の数値をもって評価する。	実施し、9/2に調査結果を提出済み		年度末の数値をもって評価する。	9月に実施済み	B		ISO9001運営マニュアルに基づき、業務関連法令等について9月に調査を実施した。
施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	開館日数、開館時間は守られているか【確認資料例: 条例、規則、日報、月報・事業報告書】	15	B		開館日数91日 予定通り開館した。	B		開館日数91日 予定通り開館した。	B		開館日数89日 予定通り開館した。	B		開館日数86日【年間累計357日】 予定通り開館した。
	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	16	B	減免の申請手続がなされた場合、適正に処理されているか【確認資料例: 減免申請書・事業報告書・減免申請に係る帳簿】	大学・学生の利用の場合は「利用料減額・免除申請書」の提出を依頼。また、学生については、減免申請の際に名簿の提出及び代表者の学生証の提示を求めている。障害者団体においては「有料公共施設減免対象障害者団体等登録台帳」及び「障害者団体登録証」を確認し、適正な処理をしている。 障害者減免件数: 2件 大学利用減免件数: 0件 学生利用減免件数: 41件	B	大学・学生の利用の場合は「利用料減額・免除申請書」の提出を依頼。また、学生については、減免申請の際に名簿の提出及び代表者の学生証の提示を求めている。障害者団体においては「有料公共施設減免対象障害者団体等登録台帳」及び「障害者団体登録証」を確認し、適正な処理をしている。 障害者減免件数: 1件【累計3件】 大学利用減免件数: 2件【累計2件】 学生利用減免件数: 39件【累計76件】	B	大学・学生の利用の場合は「利用料減額・免除申請書」の提出を依頼。また、学生については、減免申請の際に名簿の提出及び代表者の学生証の提示を求めている。障害者団体においては「有料公共施設減免対象障害者団体等登録台帳」及び「障害者団体登録証」を確認し、適正な処理をしている。 障害者減免件数: 0件【累計3件】 大学利用減免件数: 10件【累計12件】 学生利用減免件数: 44件【累計120件】	B		大学・学生の利用の場合は「利用料減額・免除申請書」の提出を依頼。また、学生については、減免申請の際に名簿の提出及び代表者の学生証の提示を求めている。障害者団体においては「有料公共施設減免対象障害者団体等登録台帳」及び「障害者団体登録証」を確認し、適正な処理をしている。 障害者減免件数: 0件【累計3件】 大学利用減免件数: 4件【累計16件】 学生利用減免件数: 81件【累計201件】		
	文書の管理・保存が適切に行われているか【確認資料例: ファイル基準表・実地調査】	17	B		ファイル基準表をもとに、適切な文書の保存・廃棄を行っている。	B		ファイル基準表をもとに、適切な文書の保存・廃棄を行っている。	B		ファイル基準表をもとに、適切な文書の保存・廃棄を行っている。	B		ファイル基準表をもとに、適切な文書の保存・廃棄を行った。
施設の公共性、公平性について継続性が保たれているか	18	B	修繕等、施設保全が適切に行われているか【確認資料例: 事業報告書・実地調査】	修繕5件 ①ギャラリーホール床修繕(追加修繕) ②和室・休憩室 畳表替 ③12階セミナー室前通路照明器具交換 ④レクチャー卓ワイヤレスシステム修繕 ⑤イベントホールワイヤレスマイクバッテリー交換	B	修繕4件 ①楽屋モニター修繕(老朽化のため部品を調達し職員が修繕) ②イベントホールUPS装置バッテリー等修繕 ③プロバイダ変更工事(インターネット環境最適化) ④ギャラリーホール壁抗菌塗装	B	修繕4件 ①12階イベントホール女子トイレ洗面自動水栓化【文化庁補助金充当】 ②チケットプリンター修繕 ③デジタルミキサー修繕 ④11階FCU1台ドレン配管部分更新	B	文化庁補助金も活用して適切に修繕を行い、利用者が安全かつ快適に施設を利用できるよう施設運営を行った。	修繕10件【年間累計23件】 ①LAN追加工事【文化庁補助金充当】 ②ロールバックチェアスタンドリモートスイッチ部品交換 ③12階女子トイレ不要センサー取外し ④事務室内ネットワーク整理及びラック設置 ⑤12階女子トイレ水洗センサー修繕【補助金】 ⑥13階楽屋・廊下照明器具LED化 ⑦11階通路床タイル貼替 ⑧事務室カウンター移設 ⑨ロールバックチェアスタンド起立制御部品交換 ⑩ホール音響・無線機修繕 ・ホールについては、舞台、音響、照明について点検項目ごとに日常点検を行っている。また、ギャラリーホールについても壁抗菌塗装修繕を機に利用前後の点検項目の見直しを行った。 ・補助金事業を活用し、感染症対策を中心とした修繕を追加して行った。			
備品の管理が適切に行われているか【確認資料例: 備品台帳・実地調査】	19	B	・利用後に各備品の数と状態を確認し、利用者に支障の無いよう管理した。		・利用後に各備品の数と状態を確認し、利用者に支障の無いよう管理した。	B		・利用後に各備品の数と状態を確認し、利用者に支障の無いよう管理した。	B		・備品調査を行い、結果を八王子市へ回答した。 ・無料貸出分を含む備品の一覧を作成し「備品管理簿【無料貸出含む】」としてデータ化し、問い合わせや管理に活用できるようにした(10月) ・利用頻度の低い有線放送装置の解約について市の承認を得て令和5年3月31日をもって終了とした。 ・利用後に各備品の数と状態を確認し、利用者に支障の無いよう管理した。			

# 学園都市センター

## 施設名

視点	評価項目	NO.	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)
			所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)			
施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が図られているか	利用者満足度	「大いに満足」、「満足」の割合が97%以上	20	年度末の数値をもって評価する。	8月から実施予定		年度末の数値をもって評価する。	8月から実施している。		年度末の数値をもって評価する。	8月～10月に実施 総合満足度 99.3% ※前年度より1ポイントアップ 満足度調査を通して吸い上げた意見はお客様の声へ反映し、早期の対応に努めた。	A	100%に極めて近い数値で目標を達成したことを評価する。なお、利用者からの声への迅速な対応についての謝辞を受けたとの報告があった。	8月～10月に実施し報告済み 総合満足度 99.3% ※前年度より1ポイントアップ 満足度調査を通して吸い上げた意見はお客様の声へ反映し、早期の対応に努めた。
	受付・事務スタッフのサービス向上取得率(期中の新規採用者、休職中職員、臨時職員等は除く)	(前年・当年度配置者以外)全員取得	21	B	施設としてのサービス向上のため、対象となる全職員の取得に努められたい。	対象の管理運営に係る正規職員5/6(83%) ・対象の管理運営に係る正規職員のうち、未取得の1名は昨年度に防災救助士講習を受講し、資格を取得している。(今年度取得予定)	B	施設としてのサービス向上のため、対象となる全職員の取得に努められたい。	対象の管理運営に係る正規職員5/6(83%) ・対象の管理運営に係る正規職員のうち、未取得の1名は昨年度に防災救助士講習を受講し、資格を取得している。(今年度取得予定)	B	施設としてのサービス向上のため、対象となる全職員の取得に努められたい。	B	対象の管理運営に係る正規職員5/6(83%) ・対象の管理運営に係る正規職員のうち、未取得の1名は昨年度に防災救助士講習を受講し、資格を取得している。(今年度取得予定)	対象の管理運営に係る正規職員5/5(100%) ・対象の管理運営に係る正規職員の全員が資格を取得した。
	SNS(Twitter)の情報発信(回数)	240回/年	22	B	目標値を上回るペースで、施設に関する情報を発信し、認知度向上に努めたことを評価する。新規利用者の獲得に向け、効果的な発信に取り組まれた。	期間中累計63回 4月:24回 5月:22回 6月:17回 ビル内の様子や、駅前の天候、イベントホール裏側の様子などを写真付きでアップし、PRに努めた。	B	期間中累計87回【累計150回】 7月:24回 8月:37回 9月:26回 記念ポスター展など事業の広報、ビル内の施設等について(授乳室・こども食堂)、ギャラリーホール修繕の様子など。	B	期間中累計86回【累計236回】 10月:34回 11月:34回 12月:18回 利用者による催し物の関連情報(丹波山村写真展など)、常連利用者(学生団体)の学祭出演情報、自主事業情報、館内の改修やメンテの様子等を投稿。	A	目標を120%以上の数値で達成したことから、期末評価をAとする。	期間中計73回【累計309回】 1月:28回 2月:18回 3月:27回 近隣の桜の様子や、廊下タイル修繕について、防火設備実技体験への参加の様子などを投稿した。年間を通し、館内の様子のPRのほか献血の呼びかけなど社会貢献に繋がる投稿も行うようになっている。	
	事故・苦情の発生件数に対する対応状況(対応割合)	100%	23	B	【事故2件】①無料貸出備品のフッキングが発生…無料貸出備品の予約管理を紙台帳からデータへ移行することで再発防止を図る②抽選での申し込みと違う時間区分が予約された(予約端末の入カミスによるヒューマンエラー)…急遽学生交流サロンを開放。利用者に謝罪し、課内で確認と情報共有による注意喚起を実施。 【お客様の声4件】①事前に搬入申請を行っていたが、当日に係員より申請書の提出を求められた…駐車場係員(ビル管理組合による委託業者)の確認も。管理組合・委託業者へ注意を行った。②MDデッキの不具合があった。当初メディア側による不具合と指摘されたが、本体に不具合があった。…利用者に謝罪し職員に情報共有した③ワクチンの案内「八王子スクエアビル」表記が分かりにくい。…八王子市へ報告済み④入場料を徴収するイベントについて、入場料加算がかかるとは思わなかった…説明し、対応済み。 ・全件「お客様の声」事故報告システムで全件対応済み。	B	【事故5件】①通行禁止としている廊下への立ち入り(夜間)…人目につかないため休憩目的に立ち入っていた。センサーライトを設置した。②および⑤空調配管の結露による天井へのしみ…設備担当者により対応済(ただし根本的な解決は修繕が必要)③ギャラリーホール柱の破損…弁償していただくこととし、利用者負担により修繕済み。④利用者が搬入場所を誤り誘導しようとしたビル警備員に暴言などの行為…搬入箇所を当該利用者で再確認した。 【お客様の声10件】※満足度調査でのコメント含む ・料金制度、予約制度(4件)…丁寧な説明と利用案内、ホームページ等の掲載内容をブラッシュアップする参考意見とする ・施設設備、清掃等への指摘(7件)…軽微な破損等への意見 ・サービスの向上(1件)…ソファの位置や見学時間について、対応済み ・友の会の処理(1件)…入金後DMが届かなかったという声があった。担当部署と連携し解決済み。 ・その他(4件)…他課転送、施設機械(床面の段差)についての要望、ネット予約のUIについての要望、対応への謝辞 ※他課転送以外は参考意見とした。	B	【事故3件】①ギャラリーホール展示会場場者が体調不良を訴え緊急搬送を要し、緊急搬送による食物アレルギーの可動性。主催者より口頭で謝罪あり。②当館利用者へのビル警備員による駐車場の案内ミスが発生…管理会社より謝罪と情報共有の徹底の旨の報告を受けた。③セミナー室利用者によるビル地下2階へのゴミの不法投棄が発生…ビル警備より連絡があり発見。利用者に説明し回収を依頼。廃棄ができない場所であることを案内済み。 【お客様の声4件】①下見の時間が短い…時間区分での貸出し施設であること人的コストの面からも無料で見学が可能な時間を15分(イベントホール30分)と設定し、超える場合は利用料金が発生する旨を説明した。②参加者で取組む催しであるため要請に応じホール定員を50%以内に調整している。そのため利用料金を減額してほしい…ご協力に感謝の旨を伝え、参考とした。③ギャラリーホールの椅子が重い…壊れている…チェックを行い、座面に小さなひび割れがある2脚を交換。重さについては今後の入替の参考意見とする。④WEBページに掲載されている申請書式が使いにくい…セルの設定等データの調整を行った。	B	【事故3件】①学園都市大学の受講生管理システムにおけるデータセンター移設作業後のセキュリティ不備の事故報告…プログラム改修の対応を実施する予定。②映画会でのイベントホール利用におけるロールバックチャェアスタンドの動作不良事故…学園都市振興課職員が総出でスタッキングチェアを並べて対応し、催物は執り行うことができた。即日業者対応し修理済。③メールサーバー障害によるメールの送受信障害(3/10)…契約サーバーの大規模障害によるもので、関係所管に電話等で連絡後、サーバー側の復旧を待った。 【お客様の声2件】①12階女子トイレの扉上部についている機械のようなものが気になる…水量調節センサーであるが、現在の設備では不要であることが判明したため撤去した(期中修繕)②お茶が飲める設備が欲しい…感染症対策のため貸出を停止している。感染症対策を重視する中で貸出を再開するかは検討していく。ご意見は参考とした。			
	利用者からの苦情処理の体制がとれていること	利用者等からの相談及び苦情に適切に対応しているか【確認資料例:相談、苦情をまとめた整理帳簿】	24	B	お客様の声対応システムにより対応している。(発生した苦情の詳細については上記項目に記載)	B	お客様の声対応システムにより対応している。(発生した苦情の詳細については上記項目に記載)	B	お客様の声対応システムにより対応している。(発生した苦情の詳細については上記項目に記載)	B	お客様の声対応システムにより対応している。(発生した苦情の詳細については上記項目に記載)	B	お客様の声対応システムにより対応している。(発生した苦情の詳細については上記項目に記載)	
定性的	新型コロナウイルス感染症の影響下においても施設のサービス向上が図られていること	25	A	昨年度に引き続き、交流サロンが会場となっている新型コロナウイルスのワクチン接種について、協力対応が取られていることを評価する。また、施設利用に関する手続のオンライン化を推進し、利用者の利便性向上に向けた取組が図られていることを評価する。	・利用希望者には「施設の利用条件同意書」への同意をいただき、コロナ禍での利用においても安全安心な施設運営に務めた。ガイドラインを確認し条件を調整した。 ・八王子市保健所が交流サロンを新型コロナウイルスのワクチン会場として使用するため、接種時間外の来館者対応や電話での問い合わせ。忘れ物の問合せなど、期間中に計13件の対応を行った。 ・利用の登録や同意書の提出などの手続きについて、来館せず行うことができるように設置しているホームページ上の申請フォームについて、手続きできるものを増やすため調整をしている。(8月より予約取消申請フォームを追加)	A	前期に引き続き、交流サロンが会場となっている新型コロナウイルスのワクチン接種について、協力対応が取られていることを評価する。また、施設利用に関する手続のオンライン化も継続して取組んでおり、利用者の利便性向上に向けた取組が図られていることを評価する。	・利用希望者には「施設の利用条件同意書」への同意をいただき、コロナ禍での利用においても安全安心な施設運営に務めた。ガイドラインを確認し条件を調整した。 ・八王子市保健所が交流サロンを新型コロナウイルスのワクチン会場として使用するため、接種時間外の来館者対応や電話での問い合わせ、忘れ物の問合せなど、期間中に計23件の対応を行った。 ・利用の登録や同意書の提出などの手続きについて、来館せず行うことができるように設置しているホームページ上の申請フォームについて、手続きできるものを増やしている。8月より予約取消申請フォームを追加した。	A	今年度より本格稼働しているホームページ上の申請フォームについて、利用者の声を反映するなどして改善し、利便性の向上のため取り組んでいることを評価する。	・利用希望者には「施設の利用条件同意書」への同意をいただき、コロナ禍での利用においても安全安心な施設運営に務めた。ガイドラインを確認し条件を調整した。 ・八王子市保健所が交流サロンを新型コロナウイルスのワクチン会場として使用するため、接種時間外の来館者対応や電話での問い合わせ、忘れ物の問合せなど、期間中に計50件の対応を行った。(期間中は追加接種の問合せが多く、件数は概ねの数となる) ・利用の登録や同意書の提出などの手続きについて、来館せず行うことができるように設置しているホームページ上の申請フォームは、手続きできるものを増やしている。10月より先行予約申請フォームを稼働。	A	年間を通し、交流サロンが会場となっている新型コロナウイルスのワクチン接種へ施設管理者として協力したこと、そして、施設利用に関する各種手続のオンライン化を推進し、利便性向上につなげたことを評価する。	・利用希望者には「施設の利用条件同意書」への同意をいただき、コロナ禍での利用においても安全安心な施設運営に務めた。ガイドラインを確認し条件を調整した。(3月13日で廃止) ・八王子市保健所が交流サロンを新型コロナウイルスのワクチン会場として使用するため、接種時間外の来館者対応や電話での問い合わせ、忘れ物の問合せなど、期間中に約50件の対応を行った。(期間中は追加接種の問合せが多く、件数は概ねの数となる) ・利用の登録や同意書の提出などの手続きについて、来館せず行うことができるように設置したホームページ上の申請フォームは、手続きできるものを増やしている。10月より先行予約申請フォームを稼働させている。
行施わ設れ、効率的な管理が、運営されているか	利用料金収入年度収支計画以上(キャンセル料は除く)	42,459,000円	26	年度末の数値をもって評価する。	4-6月 9,509,810円(前年度比5,346,330円増) 臨時休館などを行ったR3年度より回復傾向にある。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う利用中止や自粛などの影響を受けている。		年度末の数値をもって評価する。	7-9月 9,230,560円(前年度比1,148,470円増) 新型コロナウイルスの感染対策に伴う利用中止や自粛などの影響を受けている。		年度末の数値をもって評価する。	10-12月 10,067,530円(前年度比281,740円増) 徐々に回復しているものの、未だに新型コロナウイルス感染拡大に伴う利用中止が見受けられる。	B	1-3月 8,215,070円(前年度比2,377,350円増) 【年度累計 37,022,970円 前年度比 9,153,890円増】	
	管理経費 年度収支計画以下(人件費を除く)	50,035,000円/年	27	年度末の数値をもって評価する。	年度末の数値をもって評価することとなっている。		年度末の数値をもって評価する。	年度末の数値をもって評価することとなっている。		年度末の数値をもって評価する。	年度末の数値をもって評価することとなっている。	B	著しい物価高騰の影響により電気料金等が予算額を超えることとなった。	令和4年度決算額 51,483,441円(予算比102.9%) 光熱費の高騰により市より1,049,502円の補填を受けた。

施設名 **学園都市センター**

視点	評価項目	NO.	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)
			所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)			
定量的	指定申請提案書「利用者の誘致・拡大に関する方策」に掲げた日数利用率目標値を基に単年度目標値を設定	28		年度末の数値をもって評価する。	95.6% 利用は戻りつつあるが、R4年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いているため、暗数としての利用控えなどは起きている。(特に社交ダンスの団体による予約はやや減少している)		年度末の数値をもって評価する。	90.0% 利用は戻りつつあるが、R4年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続いているため、暗数としての利用控えなどは起きている。(特に社交ダンスの団体による予約はやや減少している)		年度末の数値をもって評価する。	100% 感染対策を考慮した上での利用が定着傾向にあり、利用が増加した。常連団体(ダンス)の利用が戻りつつあるため増加傾向である。	B	前年度と比較し、利用率は向上したものの、期末評価をAとする基準に満たないためB評価とする。	95%【累計95.1%】 感染対策を考慮した上での利用が増加した。(前年度累計83.3%) 常連団体(ダンス)の利用が戻りつつあるため増加傾向である。
		29		年度末の数値をもって評価する。なお、他施設と比べ、利用率が低い傾向にあるため、改善に向けて検討された。	63.6% 感染症対策を行いながらの利用を利用条件同意書などで要請し、展示会などはほぼ予定通り開催された。		年度末の数値をもって評価する。なお、他施設と比べ、利用率が低い傾向にあるため、改善に向けて検討された。	63.5% 感染症対策を行いながらの利用を利用条件同意書などで要請し、展示会などはほぼ予定通り開催された。		年度末の数値をもって評価する。引き続き、利用率向上について検討されたい。	B		61.2%【累計63.9%】 感染対策を考慮した上での利用となり、展示利用は概ね当初の予約通りに実施された。(前年度累計57.7%)	
		30		年度末の数値をもって評価する。	89.6% R2年度以降、特に趣味のサークルなどの利用減が目立っていた。R4年度になり先々の予約に再び上記サークルなどが戻りつつある。感染症拡大の状況を見ながらWithコロナの利用を推進していく。		年度末の数値をもって評価する。	85.0% R2年度以降、特に趣味のサークルなどの利用減が目立っていた。R4年度になり先々の予約に再び上記サークルなどが戻りつつある。感染症拡大の状況を見ながらWithコロナの利用を推進していく。		年度末の数値をもって評価する。	92.5% 感染対策を考慮した上での利用や、新規登録が増えた。特に従来企業の利用が多かった夜間区分の利用減が目立ち、オンライン移行等が要因として考えられる。午前区分も減であり、コロナで離れた趣味等の市民利用が戻ってきていない状況。	B	前年度と比較し、利用率は向上したものの、期末評価をAとする基準に満たないためB評価とする。	88.9%【累計89%】 感染対策を考慮した上での利用や、新規登録が増えた。従来は企業の利用が多かった夜間区分の利用減が目立ち、オンライン移行等が要因として考えられる。午前区分も減であり、コロナで離れた趣味等の市民利用はまだ戻っていない。(前年度累計83.3%)
	大学・学生の利用	300件/年	31		年度末の数値をもって評価する。(学生利用の促進について、引き続き努められた。) 4月-6月 37件 (大学ほか学校教育団体等0件・学生団体37件)		年度末の数値をもって評価する。(学生利用の促進について、引き続き努められた。) 7月-9月 41件【累計78件】 (大学ほか学校教育団体等2件・学生団体39件)		年度末の数値をもって評価する。(学生利用の促進について、引き続き努められた。) 10月-12月 54件【累計132件】 (大学ほか学校教育団体等10件・学生団体44件)			B		1-3月 85件【累計217件】 (期中:大学ほか学校教育団体4件・学生団体81件)
定性的	学園都市づくりに資する事業協力がなされていること	32	B		・窓口来館者および電話等の取り次ぎを行った。 ・大学等連携部会へ向けてポスターデザインコンテストの周知文の発送を依頼した。	B		・窓口来館者および電話等の取り次ぎを行った。 ・「こどもいちよ塾」の設営および撤収の補助ならびに当日の受付補助を行った。 ・20周年記念ポスター展を大学コンソーシアム八王子、学園都市大学と共に合同で行った。	A	「全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム」開催に当たり、指定管理者としての知見をもって大学コンソーシアム八王子を総合的に支援したことを評価する。		A	年間を通し、大学コンソーシアム八王子事業へのサポート体制を敷き、円滑な業務遂行に貢献したことを評価する。	平時から機材に関するのアドバイスを舞台職員が協力し、セミナー室等の会場確保の調整を行うなど、年間を通し協力を行った。また、コンソーシアム八王子の開催事業についてセンター職員から1名以上に参加し、支援した。  【期中】 ・窓口来館者および電話等の取り次ぎを行った。 ・1/23「学生CMコンテスト上映会・表彰式」のサポートを行った。 ・3部署による課内BCP訓練を実施した。(3/10) ・大学コンソーシアム八王子共催事業の先行予約申込について、局長決裁を作成し事業協力を行った。
	八王子学園都市大学事業への連携・協力	33	B		・講座の申し込み受付、来場者の検温等をサポートした。 ・講座資料等の搬入出対応を行った。	B		・講座の申し込み受付、講師等の検温等をサポートした。 ・コロナ等の影響による急な休講の発生時は受講生への連絡についてサポートを行った。 ・講座資料等の搬入出対応を行った。 ・サイン等に公開講座名の記載提案を行った。 ・ループアンテナの代替品の提案を行った。 ・20周年記念ポスター展を大学コンソーシアム八王子、学園都市大学と共に合同で行った。	B		B	年間を通し協力を行った。 ・講座の申し込み受付、講師等の検温等をサポートした。 ・講座資料等の搬入出対応を行った。 ・担当職員不在時には登録証更新の対応を行った。 ・SNSに前期講座申込開始や作品展などの情報をUPした。  【期中】 ・学園都市大学運営委員会に代理出席した上、会議メモを作成し、チームで情報共有を図った。		
	本市の学園都市づくりに即した管理運営がなされていること	34	A	学生と協働し、施設の認知度向上や利用促進につながる取組を企画し、実行したことを評価する。	学園都市センターのPRを目的とした「学園都市センターポスターデザインコンテスト」を計画し、募集を開始した。募集対象を学生とすることで、キャッチーなデザインの獲得と共に、学生に向けた認知度向上の狙いがある。	A	学生と協働し、施設の認知度向上や利用促進につながる取組を企画し、遂行したことを評価する。	「学園都市センターポスターデザインコンテスト」に3作品のエントリーがあった。財団職員内から審査員を選出し(常務理事・局長・夢美術館長・芸術文化会館長・芸術文化振興課長・若年層職員等)9月に入選作品を決定し発表した。	A	学生と協働して作成したチラシを活用して、施設の知名度向上のため取り組んだことを評価する。	10月の全国コンソにおいてセンターのチラシや催し物案内を配架し、12月「学生発表会」において、今年度ポスターデザインコンテストの入賞作品を用いたチラシの配架およびポスターの掲出を行った。	A	新たに、学生と協働した取組を企画し、学園都市づくりに資する事業を遂行したことを評価する。	ポスターデザインコンテストを初めて実施した。3作品のエントリーがあり、1作品を入選とした。入選としたデザインのチラシとポスターを印刷し、次年度のポスターコンテストの入選作が決定するまでPRに使用する。
	環境にやさしい八王子市役所エコアクションプラン」及び「八王子市役所環境マネジメントシステムガイドライン」に基づく、環境に配慮した管理・運営が行われているか【ヒアリング等で確認】	35	B		・節電・節水への協力ポスターを館内に掲示している。 資料の簡素化、文書の電子化、両面印刷、裏紙の使用などによる省資源化に努めた。 ・一部の供覧物をデータへ移行し、紙資源の削減に努めた。	B		・節電・節水への協力ポスターを館内に掲示している。 資料の簡素化、文書の電子化、両面印刷、裏紙の使用などによる省資源化に努めた。 ・供覧物の他に照会資料なども可能なものはデータへ移行し、紙資源の削減に努めた。	A	内部での事務処理や利用申請について、利便性向上のためにオンライン化を進めるうえで、紙資源の削減にも努めたことを評価する。	・各諸室の掲示をA3サイズ→A4サイズへ変更し、紙の節約を行った。 ・節電・節水への協力ポスターを館内に掲示している。 資料の簡素化、文書の電子化、両面印刷、裏紙の使用などによる省資源化に努めた。 ・供覧物の他に照会資料なども可能なものはデータへ移行し、紙資源の削減に努めた。 ・各種申請フォームを整備する、書類の提出方法を郵送・FAXからメール送付に移行するよう促すなどして利用者とのやり取りをできる範囲でデータ化し紙資源の削減に務めた。	A	年間を通し、組織的に省資源化に向けた取組を行い、環境に配慮した施設の管理運営がなされていたことを評価する。	・各諸室の掲示をA3サイズ→A4サイズへ変更し、紙の節約を行った。 資料の簡素化、文書の電子化、両面印刷、裏紙の使用などによる省資源化に努めた。 ・供覧物の他に照会資料なども可能なものはデータへ移行し、紙資源の削減に努めた。 ・各種申請フォームを整備する、書類の提出方法を郵送・FAXからメール送付に移行するよう促すなどして利用者とのやり取りをできる範囲でデータ化し紙資源の削減に務めた。
資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がなされていること	紙の購入枚数 前年度比5%削減	36		年度末の数値をもって評価する。	年度末の数値をもって評価することとなっている。		年度末の数値をもって評価する。	年度末の数値をもって評価することとなっている。		年度末の数値をもって評価する。	A	目標を120%以上の数値で達成したことから、期末評価をAとする。	紙の購入は3部署でまとめて行っているため、学園都市センターが使用しているコピー機のカウンター数を参照値とする。R3年度比で12.9%の削減となった。	

事業の達成目標が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われている

施設名 **学園都市センター**

視点	評価項目	NO.	6月			9月			12月			期末評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)
			所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)	所管課評価	所管課コメント	指定管理者自己評価(コメント)			
	エネルギーの使用削減施策は実施しているか【ヒアリング・資料等で確認】	37	B		環境への配慮及び新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用状況に合わせ必要最小限の時間と範囲で空調や照明を運転、点灯するなど、積極的な省エネルギーに努めた。夜間は早い時間に利用が終了する日も多かったため、ビル管理組合と連携して使用しないフロアを点検した後に施錠・消灯と空調のオフを行った。	B		環境への配慮及び新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用状況に合わせ必要最小限の時間と範囲で空調や照明を運転、点灯するなど、積極的な省エネルギーに努めた。夜間は早い時間に利用が終了する日も多かったため、ビル管理組合と連携して使用しないフロアを点検した後に施錠・消灯と空調のオフを行った。	B		環境への配慮及び新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用状況に合わせ必要最小限の時間と範囲で空調や照明を運転、点灯するなど、積極的な省エネルギーに努めた。12月より学生交流サロンの照明を原則終日オフとした。貸出施設の空調・照明の電源を朝礼後に入れる事とし、夜間は早い時間に利用が終了する日も多かったため、ビル管理組合と連携して使用しないフロアを点検した後に施錠・消灯と空調のオフを行った。	B		環境への配慮及び新型コロナウイルス感染拡大防止のため、利用状況に合わせ必要最小限の時間と範囲で空調や照明を運転、点灯するなど、積極的な省エネルギーに努めた。12月より学生交流サロンの照明を原則終日オフとしている。貸出施設の空調・照明の電源を朝礼後に入れる事とし、夜間早い時間に利用が終了した場合は、ビル管理組合と連携して使用しないフロアを点検した後に施錠・消灯と空調のオフを行った。
定量的	個人情報保護関連研修(情報セキュリティ・マイナンバー等)への参加(回数)	1回/年	38	/	年度末の数値をもって評価する。 第一四半期 実施無し ※年度内に実施予定	/		年度末の数値をもって評価する。 第二四半期 実施無し ※12月に実施予定	/		年度末の数値をもって評価する。 12月 財団主催情報セキュリティ研修(3名)へ参加	A	目標を120%以上の数値で達成したことから、期末評価をAとする。	令和4年度において3回参加した【期中 2回】 1/14.21 2/4.11.18.25 情報セキュリティマネジメント受験対策(1名) 2/16 情報セキュリティ研修(BCP研修) (1名)
	防災・消防訓練参加(回数)	2回/年	39	B	1回・リハーサル2回 ・6/23 八王子スクエアビル全体の消防訓練を実施。(7名参加) ・有事の避難対応について、毎日朝礼にて緊急時対応職員の役割分担を確認している。	B		1回 ・8/30 J-COMホール八王子主催の避難訓練コンサートに2名が参加	B		2回 ・11/25八王子スクエアビル内の消防訓練に参加した。(1名) ・災害模擬体験セミナー(店舗編) 主催:三井不動産株式会社(1名) ・有事の避難対応について、毎日朝礼にて緊急時対応職員の役割分担を確認している。	A	目標を120%以上の数値で達成したことから、期末評価をAとする。	年度累計3回【期中 1回】 ・3/10 防火設備実技体験に参加(2名) ・有事の避難対応について、毎日朝礼にて緊急時対応職員の役割分担を確認している。
	AED資格取得率(舞台含む、また期中の新規採用者及び休職中職員等は除く)	100%	40	B	プロパー 窓6・舞台3+臨職8(100%)	B		プロパー 窓6・舞台3+臨職8(100%)	B		プロパー 窓6・舞台3+臨職8(100%)	A	年間を通じて、AED資格取得率100%を維持していたことを評価する。	プロパー 窓5・舞台3+臨職8(100%) 窓6→5は新規採用職員の配備による人事異動のため。
定性的	個人情報の取り扱いが適切であること		41	B	八王子市情報セキュリティポリシーに準拠した保護対策を財団の各規程等で定め、実施している。	B		八王子市情報セキュリティポリシーに準拠した保護対策を財団の各規程等で定め、実施している。	B		八王子市情報セキュリティポリシーに準拠した保護対策を財団の各規程等で定め、実施している。	B		八王子市情報セキュリティポリシーに準拠した保護対策を財団の各規程等で定め、実施した。
	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか【確認資料例:保険証券】		42	B	施設・受託物賠償責任保険に加入。その他、レジャー・サービス施設費用保険(事故等の場合に見舞金等に対応)に加入している。	B			B			B		施設・受託物賠償責任保険に加入。その他、レジャー・サービス施設費用保険(事故等の場合に見舞金等に対応)に加入している。
	緊急(防火・防犯等)対応等危機管理体制が取られていること	事故や災害発生時の緊急時の対応が適正に行われたか。また、適正に行えるよう体制が整っているか。【確認資料例:マニュアル・事業計画書(事業計画)・事業報告書】		43	B	・主幹(防火防災管理資格者)が危機管理責任者となり、利用者の安全を最優先に、財団の「災害時対応マニュアル」や八王子スクエアビル「地震対応マニュアル」を基に即時対応する。 ・毎日朝礼で緊急時の役割分担を確認している。 ・緊急連絡網を作成し、有事の際は迅速に情報共有できる体制を整えている。 ・「学園都市センター 施設の発生後安全確認点検項目」を元に地震発生後に迅速な対応をし、サイボウズにて経営管理課へ報告している。	B		・主幹(防火防災管理資格者)が危機管理責任者となり、利用者の安全を最優先に、財団の「災害時対応マニュアル」や八王子スクエアビル「地震対応マニュアル」を基に即時対応する。 ・毎日朝礼で緊急時の役割分担を確認している。 ・緊急連絡網を作成し、有事の際は迅速に情報共有できる体制を整えている。 ・「学園都市センター 施設の発生後安全確認点検項目」を元に地震発生後に迅速な対応をし、サイボウズにて経営管理課へ報告している。	B		・主幹(防火防災管理資格者)が危機管理責任者となり、利用者の安全を最優先に、財団の「災害時対応マニュアル」や八王子スクエアビル「地震対応マニュアル」を基に即時対応する。 ・毎日朝礼で緊急時の役割分担を確認している。 ・緊急連絡網を作成し、有事の際は迅速に情報共有できる体制を整えている。 ・「学園都市センター 施設の発生後安全確認点検項目」を元に地震発生後に迅速な対応をし、サイボウズにて経営管理課へ報告している。	B	

**B**

期末総合評価	
所管課コメント	<p>【施設の管理・運営を安定して行うことができるか】 施設の安定的な運営のための人員、有資格者の配置は適切に行われていた。また、部署内外の研修や講座へ職員が積極的に参加し、そこで得た知識やスキルを活かし、サービス向上や業務効率化につなげる風土が組織内で醸成され、人材育成が適切に行われていた。</p> <p>【施設の運営において公共性、公平性、公正性が図られているか】 開館日、時間について適切に運営されていた。また、施設の利用方法等についてホームページの記載内容を見直すなど、利用者の利便性に資する情報発信に努めていた。修繕については、計画的に実施し、施設の長寿命化及び安全確保につなげていた。</p> <p>【施設のサービス向上、利用者の増加等を図る施策が図られているか】 利用者満足度について、高い水準で目標を達成した。また、SNSを用いた情報発信や、施設利用の各種手続のオンライン化を推進し、施設の知名度向上及び新規利用者の獲得に努めた。</p> <p>【事業の達成目的が明確で、具体的な事業計画に基づいて事業が行われているか】 利用率について、前年度と比較し向上したものの、目標値達成には至らなかった。新型コロナウイルス感染症の影響はあるものと思われるが、次年度は、大学・学生の利用件数とともに、目標値達成に向け取り組またい。また、年間を通し、大学コンソーシアム八王子及び学園都市大学事業へのサポート体制を敷くとともに、新たに施設ポスターデザインコンテスト事業を企画し学生と協働した取組を展開するなど、学園都市づくりの推進に貢献していた。</p> <p>【個人情報保護管理及び危機管理が図られているか】 個人情報の管理及び危機管理体制の確立について、いずれも適正に行われていた。ビル管理組合が行う消防等の訓練にも積極的に参加していた。</p> <p>【総括】部署内外の研修・講座への参加で得た知識やノウハウを組織内で共有し、施設利用に関する手続のオンライン化や内部事務処理の効率化を進め、安定した施設の運営を行った。また、SNSの活用や学生と協働した「ポスターデザインコンテスト」の企画など、施設独自の取組を展開し、利用者増や本市の学園都市づくりに即した施設の管理運営に努めたことを評価する。</p>